

九州・山口高齢者等見守り共同宣言

少子・高齢化が進行し、地域のつながりが希薄化する中、ひとり暮らし高齢者や認知症の方など、見守りを必要とする方が増加しています。

このような中、九州・山口地域では、各地域の状況に応じた見守り活動の取組が進められてきています。しかしながら、今後さらに少子高齢化、過疎化（人口減少）が進んでいくと、地域で孤立した生活をおくり誰にも看取られることなく亡くられる方が増えていく恐れがあり、「孤立死ゼロ」に向けた取組を進めていく必要があります。

見守りを必要とする方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、行政、関係機関・団体、民間事業者、住民が連携した地域全体で日常的に見守る多重的な見守りネットワークの構築が必要と考えます。

このため、私たちは、九州・山口が一体となって次の取組を進めることを宣言します。

記

1 見守り支え合う地域づくり

市町村等における見守り体制構築の取組や各地域での見守り活動等に積極的に参画し、高齢者等見守りを必要とする方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域づくりを進めます。

2 多重的な見守りネットワークの構築

日常の業務や生活において、常に見守りの視点を持ち、積極的な声かけや、地域の実情をより反映した見守り活動を行うとともに、異変に気づいた場合は、速やかに市町村等へ情報提供を行い関係者間の情報共有に努めます。

また、ICTを活用した見守り等、人的支援を補完するシステム等の開発、活用やそれらを通じた社会貢献活動に努め、見守り体制の充実を図ります。

なお、個人のプライバシーについては、これを堅く守ります。

3 生涯を通じての見守り意識の醸成

子どもの時から地域の一員としての支え合い・見守り意識が育まれるよう普及啓発に努めるとともに、職員、社員等に対し、高齢者等見守りを必要とする方を公的機関や民間事業者、地域住民等の地域全体で協力し支え合う、という見守り意識の醸成を図ります。

平成27年10月28日

九州地域戦略会議 共同議長 広瀬 勝貞
共同議長 麻生 泰

九州地域戦略会議委員

九州地方知事会	会長	広瀬 勝貞	(大分県知事)
	副会長	蒲島 郁夫	(熊本県知事)
		小川 洋	(福岡県知事)
		山口 祥義	(佐賀県知事)
		中村 法道	(長崎県知事)
		河野 俊嗣	(宮崎県知事)
		伊藤 祐一郎	(鹿児島県知事)
		翁長 雄志	(沖縄県知事)
		村岡 嗣政	(山口県知事)
(一社)九州経済連合会	会長	麻生 泰	(麻生セメント(株)社長)
九州商工会議所連合会	会長	礪山 誠二	((株)西日本シティ銀行副頭取)
九州経済同友会	代表委員	貫 正義	(九州電力(株)会長)
	代表委員	玉川 文生	((株)セイカスポーツセンター社長)
九州経営者協会	会長	竹島 和幸	(西日本鉄道(株)会長)